

2026年3月13日
損害保険ジャパン株式会社

自動車保険のお客さま向け「雹災アラートサービス」の実証実験を開始

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、近年多発する雹（ひょう）災による被害を軽減するため、個人の自動車保険にご契約のお客さまを対象とした「雹災アラートサービス」の実証実験を、2026年4月13日に開始することをお知らせします。

1. 背景・経緯

近年、気候変動の影響により全国各地で雹災が多発しており、自動車の車体に甚大な被害が生じる事例が増加しています。こうした被害は、お客さまの車両修理期間が長期化するなど、大きなご不便につながるケースも少なくありません。

損保ジャパンではこの課題に対し、2024年8月から株式会社ウェザーニューズ（代表取締役社長：石橋 知博）と連携し、自動車ディーラー等の法人のお客さまを対象とした実証実験^{※1}を行っています。

このたび、実証実験の対象を個人のお客さまへ拡大します。東芝デジタルソリューションズ株式会社（取締役社長：島田 太郎）の気象予測技術を活用し、携帯電話のSMS（ショートメッセージサービス）でアラートを配信する新たな実証実験を開始します。

※1 2024年8月23日ニュースリリース「雹（ひょう）災等による被害軽減に向けた実証実験を開始」：
https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/news/2024/20240823_1.pdf

2. 実証実験の目的

本サービスの提供により、これまでの事故後の経済的な補償を提供するという保険の役割をさらに一歩進め、事故そのものの発生を未然に防ぐことで、お客さまに『安心』という新たな価値を提供することを目指します。この実証実験を通じて、アラート配信がお客さまの具体的な防災・減災行動につながり、被害をどれだけ軽減できるかを検証するとともに、お客さまが日々の暮らしの中で感じられる安心感を高めることに貢献していきます。

具体的には、降雹リスクが高いと想定される時期・エリアにおいて、対象となるお客さまへタイムリーに警戒情報を配信します。これにより、屋根のある場所への車両退避や、毛布等での保護といった「回避行動」を促し、車両被害の軽減効果を検証します。また、SMS配信によるシステムの安定稼働やお客さまの受容性を確認し、将来的な全国展開に向けた有効性を検証します。

3. 実証実験の概要

以下の通り、特定の期間・エリアにおいて実証実験を行います。

（1）実施期間

2026年4月13日から2026年7月31日まで^{※2}

※2 実施状況に応じて、終了時期を早める場合があります。

（2）対象支店

西東京支店・埼玉中央支店・埼玉支店・群馬支店

（3）対象となるお客さま

対象支店が担当する代理店にて、2026年3月1日時点で有効な個人の自動車保険（車両保険付帯）にご契約のお客さまのうち、携帯電話番号の登録があり、2026年4月3日までに本実証実験への参加に承諾いただいた方

(4) サービス内容

契約住所における降電リスクが高まった際に、リスク度合いに応じて「注意」または「警戒」のアラートを配信します。メッセージ内のリンクからは、降電予測の地図画面や、具体的な対策方法（車両の退避や保護の方法）を確認することができます。

【配信画面イメージ】



4. 今後について

損保ジャパンは、本実証実験を通じて得られたデータやお客さまからの声を検証し、サービスの精度向上や全国展開の検討を進めていきます。

また、株式会社ウェザーニューズと連携して実施している法人のお客さま向け実証実験の知見もあわせ、より効果的なサービス開発につなげます。

今後も、防災・減災分野への取組みを通じて、お客さまの安心・安全・健康な暮らしに貢献していきます。

以上